

令和2年度第4回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2020年6月7日（日）

時間：13時30分～15時40分

会場：オンライン会議にて実施

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、栗原崇、下平歩実、川口雄大、大野陽介、高田良太、近藤聡史、菅野芳哉（以上常任理事）

森翔平（学連委員長）、鈴木雄介（審判委員長）、松田和真（広報委員長）、飯塚美里（財務委員長）、山本真央（書記）、池田拓巳（学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副委員長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. インカレ準備について

・「第69回男子・第42回女子全日本ホッケー選手権大会実施要項（案）」について

・「第69回男子・第42回女子全日本ホッケー選手権大会実施要項（案）」の内容について協議を行った。久我理事長より、（5月30日に行われた日学連役員会結果を踏まえ）「インカレは例年通りの規模で開催する」「安全に配慮し最低限試合ができるよう準備を進める」、以上の方針について説明があった。また大会実施に伴う新型コロナウイルス感染防止のガイドラインについては、JHA、日学連で作成中である旨の報告があった。

・インカレのパンフレットについては、従前は紙でパンフレットを作成していたが、電子パンフレットで対応することとした。今後の新型コロナウイルスの展開次第では、実施の可否、参加校の決定などが直前まで決まらない可能性があるため、電子パンフレットの方が機動的に対応できる点を考慮したもの。各種原稿の最終締め切り、費用については広報普及委員会で検討を進めることとした。

・インカレの会場について協議を行った。前回の役員会では駒沢と早稲田東伏見、慶應日吉グラウンドを使用する案とそれに加え大井を利用する案が出されていたが、今後、大学のグラウンドが使用可能となるのか懸念されるとの意見があった。また、新型コロナウイルス感染防止のため、一日当たりの試合数を抑えるため、グラウンドを多く確保する必要があるとの意見があった。協議を踏まえ、基本は、駒沢、大井を中心とし準備を進めることが確認し、グラウンド確保が難しい場合の大会規模縮小判断については、日学連役員会に問題提起することとした。

・開会式・監督主将会議については、従来の集合形式は難しく、オンライン会議で対応する方針を確認した。

・予算案について

・萬納副理事長より、インカレ予算（案）についての説明があり、協議を行った。新型コロナウイルスの影響で協賛金が以前より少なくなること、有料試合にしないとチケット収入・グッズ収入がゼロになることが報告された。

・大井を使用するとなるとグラウンド使用料がこれまでの見込みよりも高くなること、パンフレットを電子媒体にするためこれまでよりも費用を安く抑えられること、大会の規模によって補助員運営スタッフの費用が左右されること等が確認された。

・（広報普及委員会）インカレ運営にあたっての運営対応等について

・下平常任理事より、インカレ開催に向けた前提・運営案検討方針についての説明があった。内容については JHA の指針をみて修正を加えていくとの報告があった。

・インカレ準備委員会の立ち上げ

・宮澤事務局長より、インカレ準備委員会立ち上げについて報告があった。インカレ大会委員長を一川副会長に委嘱する旨が、承認された。

2.（競技委員会）インカレ出場チームの選定方法について

・成田常任理事よりインカレ出場チームの出場チームの選定方法についての説明があり、協議を行った（以下、インカレ関東ブロック予選と称す）。

・王座、B インカレが中止になったことから、日学連での協議の結果、関東では昨年度ベスト4 の山梨学院男女、明治男子を除いて、男子9 校・女子6 校（大会規模により減少の可能性あり）の出場枠が与えられた。この出場チームを選定する方法として、8 月下旬から9 月上旬にインカレ関東ブロック予選を行うことが挙げられた。

・トーナメント方法としては、すでにインカレ出場権が付与されているチームを除いてグループを組み、予選トーナメントを行う案（バージョン1）と、すでにインカレ出場権が付与されているチームに加え男子1 部校6 チームにも出場権を付与し、その他のチームでグループを組み予選トーナメントを行う案（バージョン2）が提案された。各大学の活動再開状況、およびグラウンドの確保状況に応じて詳細は決定するが、基本はバージョン1 に対応する方針を確認した。

・このインカレ関東ブロック予選を開催する費用については、春リーグ参加費用を繰越して充当する方針が確認された。

・インカレ関東ブロック予選が開催できないと判断された場合は、インカレ出場チームの選定方法として、2019 年関東学生ホッケー秋季リーグの順位を参考にすることが確認された。

3.（財務委員会）令和2 年度の連盟加盟費等について

・萬納常任理事より、令和2 年度の連盟加盟費等についての報告があった。日学連加盟費として各チームより 50,000 円を徴収したが王座決定戦の中止により、日学連福島事務局長より 40,000 円に減額するとの連絡があったため、各チームに 10,000 円返金することについて承認された。

・関東学生ホッケー連盟の連盟加盟費として 30,000 円徴収したが、春リーグ中止により 15,000 円に

減額し、15,000 円を各チームに返金すること、また春リーグの参加費 25,000 円と春リーグのプログラム負担金 30,000 円は秋リーグに繰越するとの報告があったが、インカレ関東ブロック予選を行う場合にはその出場チームには返金せず、出場しないチームにのみ返金するとの方針が確認された。

4. その他

- ・菅野常任理事より、関東学連として新入部員確保に向け、大井でのホッケークリニック開催など支援策展開についての提案があった。
- ・上記提案については、森委員長より、今後の各チームの活動再開状況をヒアリングする際に、併せて新入部員獲得状況の確認、および関東学連に期待する支援策について確認することとした。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 森翔平